

# 出雲圏域(林業)プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成24年度)

達成状況判断基準: 100%以上→「達成」、80%以上100%未満→「概ね達成」、80%未満→「未達成」

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率					達成状況
			項目名	H24目標	H24実績	単位	達成率	
出雲-1	素材生産の増産対策推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関で森林経営計画、森林施業地の情報共有を図り、補助事業を活用した路網整備等を進めた結果、管内の木材生産団地からの木材生産量はH24目標を達成したが、管内全体の木材生産量はH24目標を下回った。</li> <li>関係機関で森林経営経営計画作成のモデル団地を設定し、森林施業内容の検討を行い、森林経営計画作成が進み、施業の集約化が着実に図られつつある。一方では、森林所有者への周知、認定基準を満たすための施業内容等の検討が必要。</li> <li>路網整備や伐採技術者、林産専門班の育成のため、各種研修会に参加し、技術向上を図っている。</li> <li>伐採跡地更新、森林再生に取り組むモデル候補地を設定。</li> </ul>	木材生産団地(集約化区域)からの木材生産量	3,970	4,400	m <sup>3</sup>	111%	達成
			木材生産量	17,800	16,912	m <sup>3</sup>	95%	概ね達成
出雲-2	確かな品揃えができる製品づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>県産材利用を推進した結果、県産材製品の販売量は、県内と県外ともにH24目標を達成した。また、人工乾燥材生産量も各製材所への乾燥技術の向上、普及を進めた結果、H24目標を達成した。</li> <li>県すまいづくり協会等からは県産材製品の高品質で安定的な提供を求められている。ストックヤードの利活用を進めるために、木材協会との調整が必要。</li> <li>県産材の公共施設での利用では、佐田中学校の県産材使用が決定した。また、県産材製品の統一した価格設定に向けて、関係機関で調整が図られている。</li> <li>製材所への乾燥材生産指導、乾燥士の養成、JAS取得支援等を実施し、製材所の技術向上、高品質化を推進。</li> <li>県外販売の拡大に向けて、ストックヤード取扱部材の一部見直し、性能表示製品の取扱いを進め、県産材展示商談会に管内業者が積極的に参加。</li> </ul>	人工乾燥材生産量(管内企業)	2,070	2,690	m <sup>3</sup>	130%	達成
			県産材製品の販売量(県産材展示販売施設)	500	645	m <sup>3</sup>	129%	達成
			製品の県外販売量(管内企業)	250	340	m <sup>3</sup>	136%	達成
出雲-3	菌床生しいたけ生産振興プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>がんばる事業において周年栽培化に向けた施設整備支援を行い、周年栽培農家が增加了。(周年栽培農家の割合 H24目標達成)</li> <li>(株)イ農ベルみだみの菌床生しいたけ生産施設が完成し、生しいたけの出荷量が増加。(生しいたけの出荷量H24目標95%) H24目標を下回ったが、今後サンマッシュ生産部会の菌床生しいたけ生産施設が年度末に完成したので、更に増加する見込み。</li> <li>研修会等で栽培技術の習得、有利販売に向けたしいたけ菌種の移行等、周年栽培拡大に向けた取り組みが進んだ。</li> <li>増加する廃菌床の有効活用では、養鶏農家と連携し、試験的に廃菌床と鶏糞を使用した堆肥化に取り組むこととなった。</li> </ul>	周年栽培農家の割合	28	28	%	100%	達成
			生しいたけの出荷量	295	279	t	95%	概ね達成
出雲-4	出雲の砂丘海岸林再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル設定した2地域において、地域住民、市、県一体となったプロジェクトによる取り組みが進められたことから、目標を大幅に上回る参加人数、作業実施面積となった。</li> </ul>	地域住民、ボランティア等の整備参加者数	350	532	人	152%	達成
			砂丘海岸林整備のための作業実施面積	0.52	1.22	ha	235%	達成